

10	スポーツ振興局	2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の招致
事業概要	<p>2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京招致に向け、国・スポーツ界・経済界との協力体制の確立、日本全体の世論の盛り上げ、東京大会の計画となる立候補ファイルの作成及び提出、国際オリンピック委員会（IOC）評価委員会視察対応など、2016年大会招致のレガシー（遺産）を活かした招致活動を推進した。</p> <p>平成23年7月16日、2020年大会に立候補する意思を正式に表明し、IOCへ立候補を申請した。平成24年2月に東京を含む、バクー（アゼルバイジャン）、ドーハ（カタール）、イスタンブール（トルコ）、マドリード（スペイン）の5都市が、IOCへ計画を記した申請ファイルを提出し、このファイルを基に平成24年5月23日に東京、イスタンブール、マドリードが理事会において「立候補都市」として選出された。平成25年1月7日に立候補ファイルをIOCへ提出した。平成25年3月4日から7日にかけて、IOC評価委員会が現地調査を行い、開催計画内容のプレゼンテーションや会場予定地の視察を行った。</p> <p>平成25年5月30日スポーツアコード会議にてプレゼンテーション、平成25年6月14日ANOCにてプレゼンテーション、平成25年7月3日テクニカルブリーフィングにてプレゼンテーションを行った。</p> <p>平成25年9月7日、第125次IOC総会において東京が「2020年オリンピック・パラリンピック競技大会開催都市」に選定された。</p>	
これまでの経過	<p>平成23年7月16日 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会への立候補を表明</p> <p>平成23年9月1日 2020年夏季オリンピック大会立候補申請提出締切</p> <p>平成23年11月30日 招致ロゴの発表</p> <p>平成24年2月13日 IOCへ申請ファイルを提出</p> <p>平成24年4月14日 国内オリンピック委員会連合（ANOC）総会でのプレゼンテーション</p> <p>平成24年5月23日 IOC理事会による立候補都市選定</p> <p>平成24年7月27日 ～8月12日 ロンドンオリンピック IOCによる視察プログラム参加</p> <p>平成24年8月29日 ～9月9日 ロンドンパラリンピック</p> <p>平成25年1月7日 IOCへ立候補ファイル提出</p> <p>平成25年3月4日 ～7日 IOC評価委員会による現地調査・視察</p> <p>平成25年5月30日 スポーツアコード会議にてプレゼンテーション</p> <p>平成25年6月14日 ANOCにてプレゼンテーション</p> <p>平成25年7月3日 テクニカルブリーフィングにてプレゼンテーション</p> <p>平成25年9月7日 第125次IOC総会において東京が「2020年オリンピック・パラリンピック競技大会開催都市」に選定</p>	

現在の進行状況	<p>平成24年5月23日の立候補都市の決定後、平成25年1月にIOCへ立候補ファイルを提出、平成25年3月4日から7日にかけてIOC評価委員会による現地調査・視察に対応し、国内の招致気運の更なる盛り上げなど、大会招致に向けた取組を強力に推進した。また、日本の総力を結集して臨み、国の財政保証はもとより、日本オリンピック委員会（JOC）をはじめとしたスポーツ界、経済界などと連携し、日本が一丸となった、取組を進めた。</p> <p>その結果、平成25年9月7日の第125次IOC総会において東京が「2020年オリンピック・パラリンピック競技大会開催都市」に選定された。</p> <p>今後は、大会組織委員会の立ち上げ、大会開催基本計画の作成、施設整備計画・整備手法等、2020年東京大会開催に向けて取組んでいく。</p>		
今後の見通し	<p>平成25年11月 大会準備に向けたIOCによるオリエンテーション</p> <p>平成26年2月 大会組織委員会設立（予定）</p> <p>平成26年2～3月 ソチ冬季オリンピック・パラリンピック</p> <p>平成27年2月 大会基本計画策定（予定）</p> <p>平成28年8～9月 リオデジャネイロ夏季オリンピック・パラリンピック</p> <p>平成30年2～3月 平昌冬季オリンピック・パラリンピック</p> <p>平成31年7月</p> <p>～平成32年4月 テストイベント（予定）</p> <p>平成32年7～9月 東京オリンピック・パラリンピック</p>		
問い合わせ先	スポーツ振興局 招致推進部 招致推進課	電話	03-5388-2173